

平成 28 年度第 2 回練馬区立美術館運営協議会 要録

日時：平成 29 年 3 月 23 日（木）午後 3 時

場所：サンライフ練馬 3 階研修室

出席委員 栗津則雄会長、高橋幸次副会長、
青木茂委員、伊豆井秀一委員、内藤正人委員、
かしままさお委員、橋本けいこ委員、岩瀬たけし委員、
土屋としひろ委員、前田尚子委員、須藤麻世委員、
齋藤宜子委員、伊藤定夫委員、島田紘一呂委員、
江川誠志委員、玉置一仁委員
区職員 木村地域文化部長、小金井文化・生涯学習課長

課 長：本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。
ただいまから、平成28年度第2回練馬区立美術館運営協議会を開催いたします。

私は、文化・生涯学習課長の小金井と申します。よろしくお願ひいたします。それでは、はじめに木村地域文化部長よりご挨拶申し上げます。

部 長：ただいまご紹介いただきました、練馬区地域文化部長の木村と申します。本日は3月のお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

練馬区立美術館は練馬区文化振興協会の指定管理によって管理・運営を行っております。今年度も様々な企画展を開催しており、皆さまにご覧いただきましたこと、感謝申し上げます。当運営協議会におきましても、様々なご意見を賜りまして、来年度以降のさらなる発展につなげたいと思います。冒頭にあたりまして、2点ほど申し上げます。

まず1点目です、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、3月末をもって若林館長は館長ならびに練馬区文化振興協会常務理事を退任されます。平成22年より7年間にわたりまして美術館運営に大変なご尽力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。またこの会の最後に、若林館長よりご挨拶いただく予定です。

そして2点目でございます、前回の運営協議会でも申し上げましたとおり、練馬区立美術館につきましては開館から30年を過ぎて老朽化が進んでおり、改修工事が必要な時期を迎えているところであります。また、魅力的な企画展を開催するにふさわしい施設を目指し、今後の美術館の在り方や改修の仕方について現在検討をしております。

今年度をもって方向性を決定したいと思っておりますが、4月よりお迎えする予定の新館長の運営方針なども含め、今後改めて検討していく予定です。今後も皆さまにご意見賜りたく思っております。この件に

については新年度以降、改めてご報告させていただきます。

課 長：ありがとうございました。

それでは、これからの進行は、会長にお願いいたします。
会長、よろしくお願い申し上げます。

会 長：それでは、議事に入る前に、委員の出席状況について事務局から報告してください。

課 長：本日は、委員18名のうち16名の出席でございます。

従いまして、美術館運営協議会条例第7条第2項の規定により、本協議会は成立いたしました。以上ご報告いたします。
なお、傍聴希望者はありません。

会 長：ありがとうございます。

はじめに、本日の議事の進行についてお諮りいたします。
次第の審議事項1、平成29年度事業計画（案）から、順次事務局より説明を受け、議題ごとに質問等を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なしの声>

会 長：それでは、次第の審議事項1「平成29年度事業計画（案）」について説明をお願いします。

館 長：ご説明いたします。まず29年度予算としましては、28年度に比べて全体で4千万円ほど増えております。理由としましては、来年度は練馬区独立70周年記念ということで、展覧会事業費を少し膨らませております。

続きまして、展覧会事業日程（案）について担当学芸員よりご説明します。<「平成29年度展覧会事業日程（案）」・・・学芸員>

続きまして、教育普及事業について担当学芸員よりご説明します。
<「平成29年度教育普及事業計画（案）」・・・学芸員>

会 長：「平成29年度事業計画（案）」について、質問がありましたらお願いします。

委 員：ご説明ありがとうございました。多様なジャンルの企画展があり、素晴らしく思いました。教えていただきたいのですが、練馬区独立70周年と美術館との関わりはどのようなもののでしょうか。また周年事業となっていない展覧会もありますが、それぞれどういった基準で70周年とされているのでしょうか。

館 長：全館を挙げての大規模な展覧会で、70周年にふさわしいものを周年事業としています。太齋・小野木展については全館での展示ではなく、比較的小規模なものとなっているため、70周年事業としていません。

会 長：他に、何か質問はありますか。

委 員：事業の開催要項に主催、後援、協力、助成とありますが、それぞれの違いを教えてください。

館 長：主催はマスコミ、特に新聞社と共同で行うことにより、多くのPRを行うものです。後援は大使館や団体に後援をいただき、展覧会へいわゆる「箔付け」を行うものです。協力は金銭面など色々な面で協力をいただくものです。助成は、助成団体に申請を行い、数ある中から認めていただき、助成金を頂戴するものです。

会 長：他に、何か質問はありますか。

委 員：学校関連事業のスクールプログラムは、何校位の参加があったのでしょうか。

学芸員：団体数は4つのプログラム全て合わせて、30校ほどになります。回数としましては、区内に加えて近隣区や埼玉県、そして小中高大を合わせて40回程になります。

会 長：「平成29年度事業計画（案）」について、ほかに質問がなければ、承認とさせていただきます。次に、次第の報告事項2「平成28年度事業報告（中間報告）」について、説明をお願いします。

館 長：引き続き報告します。＜「平成28年度事業報告（中間報告）」について説明…館長、担当学芸員＞

会 長：「平成28年度事業報告（中間報告）」について、質問がありましたらお願いします。

会 長：この件について質問がなければ、承認とさせていただきます。次に、次第の報告事項3「美術の森緑地」について、説明をお願いします。

館 長：＜「美術の森緑地」について説明＞…館長

会 長：「美術の森緑地」について、質問等がありましたらお願いします。

会 長：この件について質問がなければ、承認とさせていただきます。次に、次第の4「その他」に入ります。事務局から何かありますか。

課 長：冒頭で部長より申し上げましたとおり、平成 22 年度から7年間にわたって、練馬区立美術館館長として多大なご尽力、ご活躍をいただいた若林館長が、この3月末をもって、ご勇退されます。若林館長から、一言いただきたいと思います。館長、よろしく願いいたします。

館 長：就任から丸7年となりました。この度、任期の途中ではありますが自ら身を引かせていただくことになりました。今日に至るまで多くのご支援やご指導いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。練馬区立美術館としましてはこの7年間を礎として、今後いっそう発展していくことを願っております。どうもありがとうございました。

会 長：若林館長、長い間ありがとうございました。それでは、以上で美術館運営協議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。